

冬季休業まであと二日 「冬支度」 整う

華道部作品（玄関前）



2 学年普通 修学旅行 課題研究

学年選出 6 班が決まる

12月19日（火）7限「総合的な学習の時間」に、（普通）修学旅行「課題研究発表」のクラス選出18作品の中から、学年選出の6作品が決まりました。

2年生（普通）は、総合展示ホールに掲示中の18作品の「ポスター」と、作品を紹介した「発表骨子（要旨）」を総合的に評価し、「種子島」「屋久島」「知覧」のそれぞれの地域から最もよいと思うものを1作品選び、全員で投票しました。

選出の6班は、今後、2月に講堂で行われる1、2年生合同の「全体発表会」に向けてスライド資料を作成し、さらに充実した発表内容にしていく予定です。

【総合展示ホールの作品を見る2年生】



【6作品のポスターと紹介文（発表要旨）】

種子島 3組E班



私たちの班は、離島で少子高齢化が進んでいるという点で、世界から見た日本と似ていると思いました。そこで、種子島で行われている、島の食材を使った自給自足の生活、さとうきびの搾りかすの再利用、火山灰土という特徴を生かした安納芋作りの3つを参考に持続可能な社会をつくることができると考えました。今の私たちは3Rの実行や国産物の購入といった身の回りの意識改革をするべきだというのがこの班の結論です。

種子島 7組C班



私たちの班は民泊で教わった、種子島の様々な魅力についてまとめ、その中でも3つに絞って紹介します。一つ目は、日本の代表的な農業、稲作の発祥の地であること。二つ目は日本最古の落とし穴があること。そして三つめは、日本の国旗、日の丸の由来の地であることです。これらだけでも驚きかもしれませんが、実はポスターに描いたイラストは全て種子島に関するものです。気になったものがあれば、ぜひ調べてみてください。

屋久島 1組I班



事前調査より屋久島の川に魚がいない事を疑問に思い、屋久島と広島を比較し、水質測定を行った結果、屋久島の川は水が綺麗だとわかりました。なぜそんなに綺麗なのか。屋久島は花崗岩が隆起した島なので土の栄養分が水に溶け出さず魚の餌がほとんどありません。また、標高差が激しく水の流れが急なため魚が生息しにくくなっています。持続可能な社会の実現のため魚が生息するこの地域では川の汚染を止める事が大切だと考えます。

屋久島 3組A班



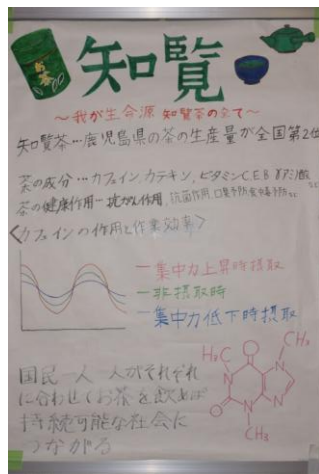
世界でも有数な生態系、自然の豊かさを持つ屋久島の暮らしをのぞいてみると、そこには、島全体の電力をまかなう発電、適地適作でつくられる作物、林業など、持続可能な社会を考えるヒントがありました。屋久島に戦前の日本の里山での暮らしを見た私たちの班は、「里地里山のプロジェクト」と題して、日本に里地里山を増やす取り組みを通して各地域で「自給自足」で生活していくシステムを構築しようと考えます。

知覧 2組E班



中央にあるのは出撃前の特攻隊員の写真である。特攻とは太平洋戦争末期に日本が形勢逆転を狙って考案した作戦だ。決死の作戦だが彼らは笑っている。これこそ当時の軍国主義教育の象徴だ。戦争を肯定する世論が形成され、鳥濱トメさんのような反戦派の弱い社会ができた。現在は平和教育が行われて、反戦的な世論が中心だが本質は変化しておらず、まさに戦争と平和は表裏一体の次元にある。大切なのは各々が平和を能動的に考える事だ。

知覧 8組B班



鹿児島県は茶の生産量が全国第2位。属する知覧でも「知覧茶」として生産されており、主に緑茶が多く栽培されている。緑茶にはカテキンをはじめとした多くの健康成分が含まれており、特にエナジードリンクの4倍も含まれているカフェインは、研究によると集中力を大きく向上させる能力を有し、適切な場面で摂取することにより能率増進を図ることが可能だ。日々緑茶を飲み、活力溢れる毎日を過ごしてみても如何だろうか。